

## 統計研究会議（第2回） 議事概要

1 日 時 令和7年11月28日（金） 13:30～15:30

2 場 所 総務省第2庁舎6階 特別会議室

3 出席者

滋賀大学データサイエンス・AI イノベーション

研究推進センター特任教授

會田 雅人

明治大学政治経済学部教授

加藤 久和

早稲田大学政治経済学術院教授

西郷 浩

法政大学経済学部教授

菅 幹雄

情報・システム研究機構データサイエンス

共同利用基盤施設副施設長

椿 広計

中央大学経済学部教授

伊藤 伸介

千葉大学客員教授

鈴木 督久

立正大学データサイエンス学部教授

高部 勲

慶應義塾大学名誉教授

津谷 典子

総務省デジタル統括アドバイザー

細川 努

大学共同利用機関法人情報・システム研究機構

統計数理研究所教授

南 和宏

大学共同利用機関法人情報・システム研究機構

統計数理研究所長

山下 智志

岩佐統計高度利用特別研究官、小松総務課長、植松政策統括官（統計制度担当）統計企画管理官、赤谷統計委員会担当室次長、栗原統計研究研修所長、永井統計研究研修所研究部長、田中（独）統計センター統計技術提供部長 ほか

4 議 題

(1) 各研究プロジェクトの報告

(2) その他

## 5 議事概要

### 各研究プロジェクトの報告

各プロジェクトの担当から研究内容を報告し、意見交換を行った。

- 日米経済センサスの産業別雇用者数比較
- 複数領域統合型世帯調査に関する調査研究
- 統計データの利用高度化プロジェクト：今後の研究の進め方（案）
- 二次的利用に関する新システムの利用状況について
- 次期 e-Statにおける「調査・研究の実施」と「基本設計方針の策定」
- データビジュアライゼーションの取組

会議の終わりに、椿客員統括教授より、「今日、報告された各プロジェクトの内容は、それぞれがこれからの統計制度、あるいは統計に共感を持っていただく方を増やす活動につながる。」との発言があった。

以上